



世界の広がりに出会い
自分なりに試し
好きになっていく

福井大学・岸野麻衣





先生を安心基地にして
多様な経験と関わり
自分の発見とこだわり

身体 自然
色水 手先 言葉
「もみもみしたの？」
「青りんご」
砂 見立て やり取り

友達とのつながり
「すっぱい」



出会いと試行錯誤に
溢れている





ひかり 3歳児

イメージをひろげて
したいことに出会える
こういうのをやれるといいよねがそこにある

どんなこともやってみれる

これまでの経験をつないでいける





にじ 4歳 ジャングリア モササウルス
15メートルって書いてある 15人分だ さめより大きい
水飲んでいる 魚と一緒にだ
何を食べるんだろう
友達と気づきを引き出し合いながら知識や経験を共有していくことがきっと次の発想へ



そら 5歳児

ねこカフェ

ジュース？
これでは足りない
もっと取ってこよう

できたよ
トッピングほしいなあ
ねこみみを付けたら？
それ伝えて

自分たちで創り出していく
発展へつなぐ先生

ねこを作っている子も

新聞紙をカラービニールで包む
これまでの経験技術



ハイビスカス

熱いから離れよう 子どもたちの判断

前のお花のときと違うよね
茶色になったよね 比べること

においは...
不気味 こわい 毒みたいな色
お味噌汁の匂いがする 感覚の言語化

紫になった
量が違う
シークワサー入れたら...
思った味と違う

他の子たちも気になって見に来る

単線でなく複線的に 個と協働で 遊びと行事で
言葉にしながら 響き合うものへ 展開していく

